

# 緩和ケアについて皆様のご意見をお聞かせ下さい

## 緩和ケアの定義

「緩和ケア」は、がん患者等の痛みなどの症状を緩和すると共に、患者とその家族を心理面や社会面まで含めて支援しQOL(生活の質)を総合的に高めることを目的とした全人的なケアです。

全国で、がんによる死亡者数は30万4千人、三重県では、4,342人(H14年)で死亡原因の第一位です。また終末状態の患者のうち約6割の人が自宅での療養を希望していますが、がん死亡者のうち在宅での死亡者数は、全国で約1.8万人(6.2%)に留まっているのが現状です。



## 三重県の緩和ケアの現状と課題

施設緩和ケア	在宅緩和ケア	人材育成	
◆2施設43床 七栗サナトリウム(18床) 三重聖十字病院(25床) 松阪市民病院で緩和ケア 病棟整備中(H19年10月 開設予定20床)	◆緩和ケア外来 七栗サナトリウム 三重聖十字病院 総合医療センター等  ◆末期がんの方の在宅ケア 6施設(津、名張、鈴鹿、 伊勢、熊野地域の6診療所)	医師	医学部に緩和ケア学科等緩和ケアにかかる専門的な育成プロセスは不存在
		看護師	県看護協会(緩和ケア看護研修)、県病院事業庁(緩和ケア看護特別研修)、県看護大学(学生を対象とした緩和ケア実習)、三重大学(看護学専攻修士課程がん看護専門看護師コース)
		※県内認定看護師の状況 ホスピス2名、がん化学療法1名	

県として、施設整備(20床)と人材育成の観点から、拠点施設を整備したい。  
拠点施設は、県立一志病院に併設(郊外型)か津市街地近郊への単独整備(都市型)の二つの案があります。

## 問題点について皆様のご意見をお寄せ下さい

- 1、来年度当初予算案には、緩和ケア拠点整備として2億6千万円(用地取得費、設計費等)が計上されています。また、建設資金は、約10億円以上かかると思われます。民間での緩和ケア取組みが進められている中で、税金にて拠点整備をそもそも県が行う必要があるのか?
- 2、緩和ケア拠点整備を県が行う場合、県立一志病院に併設(郊外型)か津市街地近郊への単独整備(都市型)のいずれが良いと考えるか?

緩和ケアに関しては、第一回定例会にて結論を出すことになります。医療行政において非常に重要な問題です。是非皆様のご意見を、FAX(0593-32-4146)、E-mail(inagaki@dream-21.jp)にてお寄せ下さい。

## ☆ラブオレメンバーコーナー☆

第1回筆者:小林由佳



～2006年春にむけて思ふこと～

2006年は「名古屋ドーム中日ドラゴンズ応援ツアー」やりたいと思います! 忘年会でお酒の入った席で、勢いで決まった感じでしたが、ぜひホントにやりたいですo(^-^o) 外野席ではなくてゆっくり座って、飲んだり食べたりしながら楽しく野球を見たいな...という感じです。大勢で行けたら楽しそう...と思っているので、一緒に行っていただけの方はぜひご連絡くださいm(\_ \_)m 開幕3連戦の広島戦からさっそく行きたいと思っています♪

ちなみに私の好きな選手は井端選手です。

※ラブオレとは...

HP参照 <http://www.dream-21.jp/ai/>

## 個人献金のお願

いながき昭義の政治活動は、皆様方の個人献金にお支えいただいております。心から感謝申し上げますと共に、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。尚収支報告につきましては、HPで詳細に公開しております。

[http://www.dream-21.jp/money\\_index3htm.htm](http://www.dream-21.jp/money_index3htm.htm)

- ◆三重銀行 三重支店  
口座番号 911077  
名義 昭友会 代表者 稲垣昭義
- ◆郵便局  
記号 12280 番号 26086671  
名義 昭友会 代表者 稲垣昭義

# Dream21 (ドリーム21)

第16号

発行: いながき昭義と明日の三重を考える会 Tel 0593-61-7873 Fax 0593-61-7876  
《事務所》〒510-8012 四日市市茂福町9-27 URL <http://www.dream-21.jp>  
《自宅》〒512-0904 四日市市東坂部町266-6

後援会事務連絡

## 本年もよろしくお願い申し上げます

旧年中は、いながき昭義の政治活動をお支えいただき、後援会活動にご理解をいただき誠にありがとうございます。

早いもので、皆様のお力で、いながき昭義を県政にお送りいただいてから今年で4年目に入ります。これまでの間、いながき昭義は、県議会にて、あるいは様々な活動を通して子どもや孫の世代に誇れるまちを創るために、精力的に走り回り、たくさんの提案をして参りました。本年は、その集大成となる一年となります。変わらぬご支援、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

また、恒例の県政報告会も30回を重ねて参りました。県政を身近に感じていただくために本年もこれまで以上に開催させていただきたく存じますので、皆様のご協力賜りますよう心からお願い申し上げます。

いながき昭義後援会会長  
古市祐治



メールマガジン110号 突破!!  
リアルタイムな県政情報をお届けします。  
登録は、[inagaki@dream-21.jp](mailto:inagaki@dream-21.jp) まで!  
また、ミクシーにて日記の公開を始めました。  
興味があります方は登録が必要です。  
事務所までお問い合わせ下さい

## ～いながき昭義県政報告会日程～

- 第30回 2月12日(日) 19時～20時  
川島地区市民センター
- 第31回 2月17日(金) 19時～20時  
本町プラザ5F 第3会議室
- 第32回 2月19日(日) 19時～20時  
水沢地区市民センター

■いながき昭義ホームページ■  
本年も毎週更新いたします。是非ご覧下さい。  
<http://www.dream-21.jp>

アクセス数34,000ヒット!!

# 最年少三重県議会議員 いながき昭義後援会会報



# 〇〇平成17年 第四回定例会 報告 〇〇

会期:平成17年11月29日～12月22日

## 予算決算特別委員会報告

今議会では、平成16年度一般会計の定期監査報告がなされ、決算報告は全会一致で可決されました。また平成18年度当初予算要求状況が報告されました。当初予算に関してはこれからしっかり議論をして2月20日から開会します第一回定例会にて採決されます。

以下簡単にご報告させていただきます。

### ◆医師確保の問題

県内の医師不足は非常に深刻な問題です。へき地等の地域医療を担う医師確保の困難性が増し、特に小児科医、産婦人科医、麻酔科医の不足が深刻です。全国比較は下記表の通りです。

医師の状況:人口10万人対医師数						
区分	総数	内科	小児科	産婦人科	整形外科	麻酔科
三重県	173.6(36)	58.1(27)	10.4(33)	7.6(34)	14.7(30)	2.7(46)
全国平均	195.8	58.6	11.4	8.3	14.6	4.8



県政報告会

※( )内は全国順位

上記表の通り全国的に下位の状況の中で、平成18年度予算要求状況は下記の通りです。

新規	安心医療推進事業費 事業概要:県内各地で医療フォーラム、ミニフォーラムを開催します。	17年度 0円 ⇒ 18年度 9,145千円
継続	子どもの救急医療整備充実事業費 事業概要:小児救急医療に関する体制整備、内科医等への研修を実施することで人材の確保を図る。	17年度 35,127千円 ⇒ 18年度 46,838千円
一部新	医師確保対策事業費 事業概要:へき地の勤務医を確保するため、医師修学資金等貸与制度、ドクタープール制度を活用し、地域の初期医療、二次医療の機能分化を進める。	17年度 31,793千円 ⇒ 18年度 66,049千円

### ◆看護職員確保の問題

県内の平成15年度末看護職員従事者は、16,842人で、三重県看護職員需給見通しによる需要数17,785人に対して943人不足となっています。また、県立看護大学卒業生の県内就職率が、45.1%と非常に低いことも問題です。私は常任委員会にて、医師不足と共に看護職員不足について早急に対応するよう厳しく指摘して参りました。平成18年度からは、看護職員確保について重点プログラムに新たに位置づけられることになりました。

新規	看護職員確保・離職防止充実事業費 事業概要:看護大学に新たに修学資金制度の創設、看護師等養成所へのカウンセラーの配置、モデル病院に対するアドバイザー派遣、病院内保育所の設置促進	17年度 0円 ⇒ 18年度 38,623千円
新規	大学建設費補助金 事業概要:四日市大学敷地内に、看護系大学建設のための補助金	17年度 0円 ⇒ 18年度 190,000千円

### ◆木造住宅の耐震診断、耐震補強の問題

木造住宅の耐震診断補助事業は、平成16年度、8,000戸を予定していましたが、実績は4,018戸でした。平成15年～18年度までに、29,000戸を診断する予定ですが16年度末までの診断実績は、7,811戸に留まっています。大震災に備えて早急な耐震診断、耐震補強が必要です。

継続	待ったなし!耐震化プロジェクト事業 事業概要:東南海・南海地震発生の危惧を踏まえ、民間建築物の耐震診断、耐震補強を加速させる。	17年度 128,750千円 ⇒ 18年度 210,250千円
----	--	---------------------------------



行政のあり方調査特別委員会視察

※次回第1回定例会は、2月20日～3月23日の日程で行われます。

## 健康福祉環境森林委員会報告

### アスベスト対策について

本県では、本年7月26日にアスベスト飛散対策会議を設置し、各部局が連携して対策に取り組んでいます。県内の各施設の処理状況調査結果は下記表の通りです。

	施設数	調査済み	未使用	使用施設	未措置	調査中
県市町村施設	6,471	6,098	5,977	121	52(※1)	373
民間建築物(※2)	4,670	2,016	1,821	195	192	2,654
公立学校	898	792	766	26	13(※3)	106
私立学校	197	192	179	13	6	5
県立の教育・体育・文化施設	18	18	15	3	3	0
市町立の教育・体育・文化施設	1,327	1,268	1,243	25	19(※4)	59
病院・社会福祉施設	94	55	36	19	8	39

※1)未措置52施設については、平成18年度中に34施設、平成19年度以降に18施設を措置予定

※2)調査対象は昭和31年～平成元年までに施工された1,000㎡以上の民間建築物

※3)13施設のうち2施設に関しては、ばく露の恐れあり

※4)19施設のうち5施設に関しては、ばく露の恐れあり

### 《事業者に対する支援》

アスベスト対策に取組む中小事業者に必要となる資金を融通するため、三重県中小企業融資制度の環境保全資金融資の対象に「吹付けアスベスト等の飛散の未然防止措置」を追加し、平成17年11月1日から実施中。

融資限度額:5,000万円

貸付利率:年率1.2%

### 《国の対応》

- ① アスベストによる健康被害を救済するため、医療費、療養手当、葬祭料、特別遺族弔慰金を給付する新法案を次期通常国会に提出予定。(総額700億円程度)
- ② 大気汚染防止法施行令を改正し、アスベスト対策を強化。(3月1日からスタート)吹付けアスベスト等を使用している建物の解体時における届出規模要件を撤廃。
- ③ 既存の建物に対しても増改築時に吹付けアスベスト等の除去や封じ込めの義務付け等について建築基準法の改正を検討中。



県政報告会

### フェロシルト問題にかかる対応状況について

石原産業㈱による土壌埋め戻し材フェロシルトをめぐる一連の事件を受けて、本年8月「フェロシルト問題検討委員会」が設置され、今議会に「フェロシルト問題に関する検討調査最終報告書」が提出されました。参考人招致の議論等は、県議会のHPで動画配信しておりますのでご覧ください。 <http://www.pref.mie.jp/GIKAI/kenfuku.htm> 尚、今回の問題で明らかになった現行制度上の課題については、下記の通り対応いたします。

#### 三重県リサイクル製品利用推進条例施行規則の見直し (一月中に見直し予定)

- ① 申請書審査時の立入り検査の際、製品サンプルを採取し分析する。(これまでは届出のみ)
- ② 認定後も定期的に事後調査(抜き打ちによる立入り検査)を行い、製造工程等に変更がないことを確認するとともに、製品サンプルを採取し分析する。(これまでは事後調査は行っていなかった)
- ③ 製造者の品質管理の一環として、製品サンプルを一定期間自社保管させることの行政指導。(これまではサンプル保管を義務付けていなかった)

#### 三重県リサイクル製品利用推進条例改正 (第一回定例会改正予定)

- ① 不法行為に対する罰則規定を盛り込む。
- ② 認定対象とする製品への制限を設ける。(特別管理廃棄物や放射性物質を原料とするものなどの排除又は、制限)
- ③ 運用の明確化及び行政指導に強制力を持たせるための規定整備
  - ・製品サンプルや詳細な分析データの提供義務を明文化
  - ・認定条件(品質管理、製品のサンプル保管など)を明文化し、違法行為を取消し要件に追加
  - ・認定委員の役割、位置づけを整備 など

※条例改正項目は、上記3点が検討課題ですが、現在様々な議論があり第一回定例会で結論を出すこととなります。

議会報告は年4回発行しております。バックナンバー(第1号～第15号)が必要な方はご連絡下さい。お待ちしております。